

# キラットさん

BE AMBITIOUS

月居服装専門学校  
専門課程研究科2年

小林郁子さん



今回のキラットさんは月居服装専門学校の小林さんに登場いただきました。小林さんは、高等課程で三年間学んだ後、裁縫の奥の深さに魅かれ、迷うことなく現在の専門課程に進みました。学校では、和裁、着付け、茶道などを学んでいます。和裁は、技術検定の上級を既に取得しており、振りそで、ほかま、帯など着物一式を、何と自分一人で縫うことができ、着付けをすることもできます。そんな小林さんでも「和裁のすべてが難しいです」と気を緩めません。というのも、この世界は厳しく、上達には、より一層の勉強と、これからの経験がものをいいます。また、お茶のほうは立ち振る舞いからお茶をたてることまでの基本動

作を習得しました。来春卒業予定の小林さんにこれからの目標を聞きましたら「学校で学んだことを役立てて、いずれは仕立ての専門職に就きたいです」としっかりと決意を述べてくれました。

小林さんの性格についての自己分析は「のんびり屋で、ドジなところがあります。和裁をしていて失敗に気付かず作業を進め、出来あがり近くに大慌てしたこともありましたが」と自ちよう気味。指導してくださる先生は「小林さんは、いつも落ち着いて物事に取り組んでいます。ですから、彼女が失敗して慌てている様子は、普段とのギャップもあって、見ていて楽しいですよ」と温かく語ってくれました。趣味は読書で、マンガから小説まで幅広く、ジャンルは問いませんが、特に赤川次郎のファンだそうです。また、小林さんは手先がとても器用で、ドールハウスという、人形サイズの小さな家の制作に、最近凝っています。

インタビューに答える小林さんは、まさに向上心の塊といった感じでした。日々の積み重ねは必ず彼女のこれからの自信となることでしょう。最後に先生からも「小林さんは物静かですが、文章や絵の表現力はすばらしいものがあります。マイペースでコツコツと努力する彼女は、お嫁さんにするにはいいタイプですよ」と二重丸のお墨付きをもらいました。

## 私の本棚

中央図書館新着図書



『骨』

フエイ・ミエン・イン著

文芸春秋

末娘二ーナはニューヨークへ去り、次女のオーナはビルから身を投げた。長女のレイラはチャイナタウンに生きる者の絆を背負って、彼女自身の旅立ちを思う。『骨』という不吉めいた表題ではあるが、チャイナタウンのどこかばらばらな家族を描いたこの小説は、読む人を温かくつつんでくれる。登場する二人の男性がしっかりと作品をまとめ、素材の暗さを感じさせないところも魅力である。

### 一般書

◇運命の劇場上、下(落合信彦) ◇岡本太郎に乾杯(岡本敏子) ◇あたしのこと憶えてる?(内田春菊) ◇愛さずにはいられない(紫門ふみ) ◇ぬばたま(藤堂志津子) ◇天璋院敬子(梅本育子) ◇ナポレオンとタレイラン上、下(高木良男) ◇非婚(家田莊子) ◇朱子と氣と身体(三浦國雄) ◇秘めたる殺人(西村京太郎) ◇本の雑誌血風録(椎名誠) ◇日本版ビッグバンの全て(楠本博) ◇大石内蔵助を見直す(勝部真長) ◇こんな民主主義いらぬ(大橋巨泉) ◇毛利元就中(内館牧子) ◇7つの習慣(スティーブン・R・コヴィー) ◇サラエボの鐘(イヴォ・アンドリッチ) ◇1997香港の憂鬱(邱永漢) ほか

### 児童書

◇私の愛犬モグラ物語(仲村英子) ◇赤んぼ大将さようなら(佐藤さとる) ◇魔法の輪(スザンナ・タマロ) ◇大きな大きなおだんごおなべ(パウル・マール) ◇夢をかなえる12の方法(折原ひと) ◇たまごのあかちゃん(かんざわとしこ) ◇動物はえらい(小宮山浩) ◇使いきりカメラの実験(相場博明) ◇レオくんいつまでも(寺村輝夫) ほか

7月のテーマ関連図書コーナー・・・『古代』  
親子読みかせ会・・・7月4日 14時30分  
中央図書館の休館日・・・7月20日、21日、24日